

2010年3月1日

同窓会報

■発行／同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136
ホームページアドレス <http://www7b.biglobe.ne.jp/reiho/index.html>

平成22年4月開校

自ら究め未来を拓く

新富山県立氷見高等学校



「虎変の年に」



同窓会副会長
倉田 雅人

昭和2年に旧制氷見中学として開学以来、今年で83年を迎えようとしている本学にとって、今年平成22年は将来どのように記憶されるかを考えたときに、大きな変革の年として校歴に刻まれることになるのだろうと考えるのは、おそらくわたしひとりではないと考えます。

というのも4月からは、高校の再編統合によって生まれる新しい氷見高校がスタートするからです。

少子高齢化によって引き起こされるさまざまな問題については、いまさら申し上げる必要もありませんが、学校の現場においてもいろんな弊害となって現れています。そのひとつが学校の小規模化であり、県立高校においてもその傾向は同様で、その結果よりよい学習環境の再構築の名のもと、氷見においては従来のふたつの県立高校がひとつに統合されることになったわけです。

たしかに平成においてだけ見ても元年と20年の氷見市内の中学の卒業生の数では、960名から450名へと半分以上に激減しており、再編統合もやむをえないことなのかもしれません。

とは言え、共に永い歴史を有する有磯高校、氷見高校関係者およびそれぞれの同窓生にとっては、複雑な思いや一抹のさびしさを感じるひともし少なくないことでしょう。

ところで今年は寅年にあたります。

中国の古典「易経」に虎変という言葉があり、それまでの制度に変化を加え、日々新たな制度に変えていくことを、変化と美しさに富んだ虎の毛皮模様と重ね合わせて讃えた言葉です。

4月からの新しい氷見高校のスタートが、虎変の年よろしくこれまで以上に充実したものとなり、そこに学ぶ生徒や地域の中学生にとって魅力のあるものになることを期待してやみません。

新氷見高等学校の開設に向けて



校長 藤田 栄

同窓会の皆様方には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本校は平成22年度から、有磯高等学校との再編統合により新氷見高等学校として新たな一歩を踏み出すこととなりました。新高校設立にあたり、生徒一人ひとりの可能性を引き出す多面的な視点をもつ学校とするため、準備を重ねてきたところであります。具体的には、普通科をはじめ新高校の5学科が互いに連携して、単独学科校では難しい3年間を通したキャリア教育の充実、さらには複数学科から成る学校の特性を生かし、専門教科の先生から直接学ぶことができる総合選択制の導入などにより、“学びの質”を高めていきたいと考えております。

ここではその取り組み内容や仕組みの一端をご紹介しますと思います。

その1 新しい学校の概要

学年の構成は、普通科4クラス、うち1クラスはハイレベルな学力を身につける「文理探究コース」、また、専門学科は3クラスで「ビジネス科」1クラス、「生活福祉科」1クラス、「農業科学科」・「海洋科学科」各20名を併せた1クラスで1学年5学科7クラス280名となります。

新高校は、現在の氷見高校の校舎を使用し、実習に伴う施設や用地は平成24年度を目途に校地内及び学校周辺に整備される予定です。

その2 新たな取り組み

○文理探究コースの設置

これまでの理系を中心とした「自然科学コース」を、新高校では文理探究（文系）文理探究（理系）に分け、これまで以上に少人数指導を取り入れ、きめ細かく指導できるようにします。授業時数は、1日あたり50分授業の7限、週34時間とし、より発展的な学習に取り組み、探究力や理論的・科学的思考力が伸ばせるようにします。また、富山大学や富山県立大学での受講（夏季休業中）や課題研究で大学教官等の専門家から指導を受けます。

○キャリア教育の充実

生徒一人ひとりの進路実現に向けて、生徒が高校3年間を通して進路を探究し、学びへの意欲を持つようにサポートします。

・**自己発見**：未来講座「HIMI学」（1年）

自然や地域社会と直接ふれあい“本もの”から学びます。自分の道を見いだしていく本校オリジナル科目（本校OBによる講話や講演も含む）です。

・**進路探究**：「キャリアガイダンス」（2年）

高大連携（富山大学、県立大学、東京海洋大学等）による出前授業や講座の受講、大学訪問、職場見学、インターンシップ等を通して進路を探究します。

・**進路実現**：「キャリアデザイン」（3年）

2年間培ってきた一人ひとりの進路希望の実現に向けて、学習支援など、きめ細かなサポートを行います。

○総合選択制

5学科が連携して、生徒一人ひとりの進路希望や興味・関心に応じて、学科の枠を超えた科目選択ができます。

例1：普通科、ビジネス科、農業・海洋科学科の生徒が福祉関係の進路を希望

→ 社会福祉援助技術や福祉実習を選択

例2：ビジネス科、生活福祉科、農業・海洋科学科の生徒が大学進学を希望

→ 基礎英語、基礎数学、化学を選択

など、一人ひとりの進路にあった科目を選択して学ぶことができます。

その3 制服、校章、校歌

○制服について

地元中学生から募集したデザイン画を参考にして、専門業者が制作しました。新しい氷見高校にふさわしい「知的」で「爽やか」なデザインとしました。男女ともに、ブルーを基調としたカラーリングで知性を感じさせるものです。

○校章について

これまでの両校の校章と生徒から募集したデザインを参考にして、今年度中に図案を作成する予定です。

○校歌について

平成24年度を目途に検討することとしています。

以上3点を含む、新高校の概要については、中学生とその保護者、市民の方々に対して、説明会や市の広報誌、能越ケーブルテレビ等でお知らせしてきたところですが、次年度からは、新高校の入学式や運動会など学校の様子を市の広報誌やケーブルテレビ等を活用して、積極的に皆様方にお知らせしたいと考えております。

また、4月からは、氷見高校や氷見市内を舞台として、高校生を主人公とする実写映画「ほしのふるまち」の撮影が開始されます。この映画が氷見市はもとより、新高校に対するイメージアップにつながればと思っています。

4月の開校に向けて準備期間もあと僅かになりました。昨今の経済不況の中、先行きが不透明で厳しい今の時代を、生徒一人ひとりが意欲を持ってたくましく生き抜いていくためにも、優れた知性、豊かな心、健やかな体を育てられるよう、よりよい環境を整えて新1年生を迎えたいと思います。皆様方には今後とも本校に対するご支援とご理解、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【新高校の学科構成】



【新しい制服】



第42回 同窓会総会と懇親会「同窓生の集い」

平成21年9月27日(日) 於：マイアミ

総会は細川同窓会会長の挨拶の後、とどこおりなく議事が運営されました。懇親会「同窓生の集い」は100名を超える同窓生が集まりました。楽しい懇親会の様子は氷見高校同窓会ホームページをご覧ください。



麗峰グリーン会

氷見高校を卒業された皆様方におかれましては、様々な地域や場面で活躍のこととお喜び申し上げます。2010・平成22年度の開催は4月29日(木)・8月16日(月)の予定です。例年、ゴールデンウィークとお盆に開催しており、参加人数は約60人ほどで、会としてはまだまだ参加者を募集しております。県外で活躍されている方、Uターンで戻られた方、里帰りの方などなど、この会を利用して懐かしい顔を合わせてみませんか？初参加でいきなり入賞、久々の参加で賞品ガッポリ、あいつには負けれない、久しぶりどうしている？でゴルフそっちのけなど、その年代年代で様々なドラマが繰り広げられます。皆様の参加を心よりお待ちしております。

その他に「富山県高校OB対抗ゴルフ大会」の氷見高校OBチームのお世話もさせていただいております。我こそはと思われる方、どしどしコンペに参加してチームに入られてはどうでしょうか。

また、本会は誕生22周年を迎え、今まで以上に皆様に喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうか宜しくお願い申し上げます。

2009・平成21年度の成績

4月29日(水)

優勝	山本清志
次勝	嘉山正之
3位	鞍本茂
4位	佐伯鉄夫
5位	大野健朗

8月16日(日)

優勝	柳田正次
次勝	角田美紀雄
3位	小川俊彦
4位	嬢葉敏三
5位	田中一郎



詳細につきましてはホームページをご覧ください。 <http://www.e-himi.com/green/>

皆様の今後のご活躍をご祈念申し上げ、ご案内とさせていただきます。

麗峰グリーン会事務局 佐伯鉄夫

第31回卒業生同窓会



氷高第31回卒業生同窓会が平成21年8月13日ホテルニューオータニで開催されました。『40代最後の年の同窓会を学年全体で』ということで、6名の恩師をお招きし、120名の同窓生が30年ぶりの再会となりました。学年全体での同窓会は今回が初めてであり、幹事の皆様には大変ご苦勞をおかけしましたが、懐かしい友と楽しい時を過ごすことができました。恩師を囲んでの記念写真を今回の同窓会報に掲載していただきました。

各年代の同窓会を紹介いたしますので氷見高校同窓会事務局までお知らせ下さい。FAX・メールでもかまいません。

関東支部だより

第26回関東支部総会及び懇親会は2009年10月17日(土)一ツ橋の如水会館に於いて開催された。

ご来賓として、同窓会本部から細川勝行会長、吉野耕三事務局長、母校より藤田 栄校長先生、金原理博先生、氷見市教育委員会から前辻秋男教育長、恩師の太田良成先生、東京氷見会から大橋隆之会長、森谷 豊幹事長、東京富山県人会連合会の桃井清治常務理事、北日本新聞社東京支社斉藤 寿支社長のご臨席を賜り、総勢83名が参加し、にぎやかな集いとなった。

第一部、総会は船木昭二常任幹事(高29回生)の司会で始まり、物故会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、扇内秀樹会長(高13回生)の今年は母校も有磯高校との合併を控え、大きなチェンジの時期を迎えている。学校名も氷見高校と決まったと聞き、同窓会もこのまま繋いでいけるのではないかと、ただ同窓会の開催案内件数に対し出欠の返事が36%と予想以上に少ないので、今後とも会員の参加意識を向上させていきたいとの挨拶があった。

続いて、新堂弘会計幹事(高20回生)より会計報告、菅沢不二夫会計監査(高18回生)より会計監査報告がなされ、全員拍手で承認された。

尚寺子儀同窓



(扇内会長挨拶)

第二部では、ご来賓の紹介とご挨拶を頂き、細川同窓会長(高18回生)からは、有磯高校との合併に伴う新学校名が氷見高校に決まるといきさつについて、有磯高校のご厚意により決まったとの説明があった。藤田校長先生からは、母校の活躍の様子や、有磯高校との

合併により、水産・農業を併せ持った全国でも極めてユニークな学校になる、また文理探究コースを作り授業時間も週34時間と長く、学力アップの努力をしている旨の挨拶があった。

更に前辻教育長(高17回生)より、高校の教育環境をより充実する為にも、ふるさと納税の協力の依頼があり、これは氷見市も前向きに協力を約束しているので、予算のつけられない教育費についての協力の要請があった。

第三部、懇親会は市田稔顧問(高2回生)のご発声による乾杯で和やかに歓談が行われる中、恩師太田先生の氷見高校へ赴任された頃の思い出や、高校野球の監督をされていた頃の思い出話など懐かしく聞かせて頂いた。各テーブルとも懐かしい同郷・同期の集いでいろいろなバイキング料理に舌鼓を打ちながらあちこちで歓談の声が上がって懐かしい氷見弁が飛び交っていた。

和やかな懇談の内、真咲杏子(浜本京子高20回生)シャンソンの調べ、枯れ葉など素晴らしい歌声に酒が又一層進んだ。

例年恒例のビンゴ大会が久保常任幹事(高19回生)の司会で開かれ、豪華景品の獲得をめざして場内は熱気に溢れ大いに盛り上がった。最後は、藤田校長と、扇内会長による万歳三唱とエールの交換を行い、シャンソン歌手真咲杏子さんの指導により、元気な声で懐かしい校歌を斉唱した。

尚寺子儀同窓



柴 右子副会長(高13回生)による閉会の挨拶で来年の再開を期し散会した。

当日は、会員各位からビンゴ景品を頂きありがとうございました。更に、同窓会本部から恒例の懐かしい味「かまぼこ」を、JA氷見から新米の「ひみ穂波」と「はと麦茶」を頂いた。

関東支部が準備した「ぎんなん餅」に併せ場内氷見物産品(江政商店)の干魚、みりん干等、郷里の匂い一杯で家路に着きました。

副会長 伏脇 忠昭(高15回生)記

関西支部だより

《第25回総会・懇親会》

関西支部会では平成21年4月12日、藤田栄氷見高校校長、細川勝行同窓会会長、金田浩人氷見高校教諭、窪田豊之有磯高校同窓会関西支部会会長らのご来賓の臨席を得て、第25回総会と懇親会を、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで開催しました。

細川会長・藤田校長からご祝辞を賜りました。①部活動、②就職状況、③進学状況、④高校再編(有磯高校との合併)の件などについてのお話もありました。



多胡会長が「桜花爛漫の行楽の最高の日に、わざわざ当会に足を運んでいただき感謝しております。今朝こちらに向かうとき川面に浮かび流れる花を見て、花筏(はないかだ)という言葉思い浮かべました。桜の花と同じように、人生にも華やかさと儚さがあります。年老いた人も、若い人も十分身体に気をつけて、これからまた一年頑張ってください、来年またここでお会いできたら、これに勝るものはないと思います。」と挨拶致しました。

総会では、平成20年度決算案、平成21年度予算案及び事業計画案が承認されました。会長改選の件では、山崎菊雄副会長が会長に就任し、多胡冽会長は顧問に就任しました。

引き続き、多胡前会長の退任挨拶と山崎新会長の就任挨拶がありました。

懇親会では、ご来賓や会員のユーモアとウィットに富むスピーチをいただきました。狩野正弘さんの、謡「高砂」やこの道三十年の新舞踊天羽流名取桐彩智さん(米田美智子さん)の舞踊を堪能させていただきました。お楽しみ抽選会では幹事もちよりの豪華な景品を当てて大喜びでした。校歌斉唱や安井隆同師の歌説法で大いに盛り上がり、最後に金田浩人教諭の氷見高校・同窓会本部・同窓会関西支部会の健闘を祈念する応援団仕込みのエールで閉会となりました。

《第26回グルメの会》

平成21年11月15日、正倉院展や興福寺国宝特別公開で賑わう奈良市の日本料理店「おぼな」で第26回グルメの会を開催致しました。9年ぶりの奈良市での開催でしたが、おいしい日本料理を味わいながら歓談し、平城遷都から千三百年の古都での楽しい秋の一日を満喫しました。

《会報雷鳥1号の発行》

関西支部会では毎年会報を発行しております。2月末に25号を発行しました。母校氷見高校の近況報告、会員の随筆、関西支部会の活動状況、氷見のトピックス満載で、総会に出席できない会員からもよるこばれております。

《第26回総会・懇親会》

来る4月18日、JR大阪駅のホテルグランヴィア大阪で次回総会・懇親会を開催いたします。関西在住の方は是非お越しください。

(関西支部会事務局記)

「アジアユースオリンピック予選に出場して」

3年5組 上野 真悟

私は、6月27日から7月15日まで韓国で行われた、アジアユースオリンピック予選に出場しました。この大会は、世界ユースオリンピックへの切符がかかった大会で、アジアから8ヶ国が参加しました。

日本は、予選リーグは順調に勝ち進み、1位で通過しました。決勝トーナメントでは、準決勝でサウジアラビアと対戦しました。体格とパワーの差があり、とても苦戦しましたが日本の持ち味である粘り強いディフェンスとスピードのある速攻が機能し、延長戦の末、勝つことができました。決勝では、絶対に勝つという気持ちで臨みましたが韓国のディフェンスをなかなか崩すことができず負けてしまい、世界選手権の切符を手に入れることができず、本当に残念でした。

私はこの大会を通して、世界のレベルを実感し、日の丸の重さを感じることができました。このような貴重な経験ができたのも今までハンドボールをご指導・応援して下さいました方々のお陰だと思えます。本当にありがとうございました。今後も大学で頑張っていきたいと思えます。



平成21年度 部活動主な記録

<野球部>

- 第120回 北信越地区高等学校野球大会 第3位
- 第91回 全国高等学校野球選手権富山大大会 ベスト4

<ハンドボール部>

- 平成21年度北信越高等学校体育大会 男子の部 出場
- 第45回北信越高等学校ハンドボール選手権大会 女子の部 優勝



優秀選手 長 優希 南義 知里 谷 智穂

- 2010年男子ハンドボールユースオリンピックアジア予選 第2位 上野 真悟
- 平成21年度全国高等学校総合体育大会 女子の部 ベスト8
- 第33回北信越選抜予選大会 優秀選手 南義 知里



<バレーボール部>

- 平成21年度北信越高等学校体育大会バレーボール競技 女子の部 出場
- 第10回北信越高等学校新人バレーボール大会 女子の部 出場

<ソフトテニス部>

- 平成21年度北信越高等学校体育大会ソフトテニス競技 男子の部 出場 山崎 誠・川本 和希組
- 第35回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会北信越予選会 出場 山崎 誠・川本 和希組

<自転車部>

- 平成21年度北信越高等学校総合体育大会自転車競技
 - 3km個人追い抜き 第1位 近谷 涼
 - 1kmタイムトライアル 第3位 中村 晋作
 - 4km個人追い抜き 出場 藤井 寛
- 平成21年度全国高等学校総合体育大会自転車競技
 - 3km個人追い抜き 第6位 近谷 涼
- 平成21年度中部8県対抗自転車競技
 - 少年 1kmタイムトライアル 第3位 中村 晋作

<水泳部>

- 平成21年度北信越高等学校体育大会水泳競技大会
 - 女子200mバタフライ 出場 武田玲伊奈
 - 女子400m個人メドレー 出場 武田玲伊奈

<吹奏楽部>

- 第50回北陸吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞
- 第9回東日本中学校吹奏楽大会大会 コンクール部門 高等学校の部 銅賞

<書道部>

- 第33回全国高等学校総合文化祭 書道部門 銅賞 笹尾 真杏里

<理科部>

- 第68回富山県科学展覧会 研究努力賞
- 第53回日本学生科学賞富山県審査委員会 優秀賞
- 第21回富山県高等学校自然科学部研究発表会 研究活動奨励賞

<その他>

- 平成21年度北信越高等学校体育大会体操競技
 - 出場 田口 晶子
 - 最優秀賞 金原 明希
 - 優秀賞 四津川 花
- 第26回全商英語スピーチコンテスト 優秀賞 四津川 花
- 第58回学生ユネスコ弁論大会 高等学校の部 第2位 能澤 英奈

□進学・就職状況

平成21年3月卒業生の進学・就職状況は次のとおりです。

●進 学

大学・短期大学等合格者数

年 度	学科	大 学			短 大			大 学 校	専 門 学 校	合 格 者 数 計
		国 公 立	私 立	計	国 公 立	私 立	計			
平成 20 年度	普通科	32(3)	149	181(3)	3	18	21	0	43	245(3)
	商業科	2	13	15	0	6	6	0	8	29
	計	34(3)	162	196(3)	3	24	27	0	51	274(3)

()は過年度で内数

・主な進学先（4年制大学）

- 国立大学 …… 北海道大、新潟大、富山大、金沢大、福井大、信州大、高知大
- 公立大学 …… 富山県立大、石川県立大、石川県立看護大、前橋工科大
- 私立大学 …… 明治大、法政大、日本大、東海大、同志社大、大阪薬科大

●就 職

学科別状況

	男子	女子	計
普通科	6	2	8
商業科	12	1	13
計	18	3	21

・主な就職先

- 国家公務員税務、富山県警、
- 氷見市職員、北陸電力、オプテス、
- コマツキャストックス、東洋紡、
- 氷見村田製作所、
- 氷見市農業協同組合、
- 氷見伏木信用金庫

＝ お 礼 ＝

東日本学校吹奏楽大会出場に際しまして、氷見高校の同窓会の皆様方より物心両面にわたり、多大なご協力、ご支援をいただき本当にありがとうございました。

結果は銅賞でしたが、全国の大舞台を経験できたことは何事にもかえ難い、素晴らしい財産になりました。この大会での経験を生かして、これからも頑張ってもらいますので引き続き応援の程よろしくお願いいたします。



第9回 東日本学校吹奏楽大会〔2009年10月11日〕
〔札幌コンサートホールKitara〕
【コンクール部門 高等学校の部】
北陸代表 富山県立氷見高等学校

『事務局だより』

昨年11月、本会二代目会長を務められました屋敷平州先生（中学7回）がご逝去されました。

一昨年9月には伏脇欣二初代会長がご他界され、初代、二代の両元会長の葬儀に相次いで参列する機会をいただきました。伏脇さんは様々な分野の造詣が深く卓識で、しかも幅広い交友関係を築かれ多くの人たちから慕われていました。

『朝日が丘に沈む陽は 大公孫樹に夕映えて 水中(高)健児の勝ちどきに 有磯の海も轟きぬ』

と歌い次いできた『凱歌』の作詞をされ、旧制氷見中学第1回生として『文武両道・質実剛健』の校風、伝統の礎を築かれました。

屋敷平州先生は京都帝大哲学科に学び、高校教師、大学教授、高校長として教育者の道を歩まれ、また県教育長、教育委員長として富山県教育行政の確立に多大な功績を残されたことは敢えて紹介するまでもありません。

ご子息の啓彰氏（高校20回）は告別式のご挨拶で、ご尊父について、「晩年病臥についても、『人に優しく』、『学問を究める』、『生涯学習』という三つの信条を保ち続け人生を全うした」と述べられ、そして亡くなられる一週間ほど前に詠まれたという辞世の歌、

『 かにかくに 奇しきかいこう 長はじめ すてがてにとす あが命をば 』

この歌の、絶筆とは思われぬあまりにも端正な墨跡の色紙を掲げて参列者に披露されました。

先生はご自身の人生をどのように回顧し、どのような感慨を持って辞世を詠まれたのかはもちろん知る由もありませんし、素養のない私には歌意どころか語釈すら覚束ないところです。

卒寿を迎え終末期の病状にあってなお辞世の歌を詠み、筆を揮われた先生の、今將に命の灯火が消えようとするなかで思考や神経を律する強靱な精神力には驚嘆するほかはありません。

私などには辞世の歌などは詠めるはずもなく、想像すらし得ない別世界のことですが、屋敷先生が生涯座右にしておられた三つの信条は、『学問を究める』を『業』あるいは『道を究める』に、『生涯学習』は『生涯研鑽』または『生涯修行』と置き換えて心に刻みました。

またまた同窓の大先輩より貴重な教を賜ることができました。

今氷見高校は有磯高校との再編統合により、新氷見高等学校として再出発する校史の大きな転換期にあたります。

伏脇、屋敷両大先輩、新氷見高校並びに氷見高校同窓会の行く末を、黄泉の国よりどうかお見守り下さい、ご冥福をお祈り申し上げます。

事務局長 吉野 耕三